

第2章 指導の展開例

1 学校における生命を大切にする指導

総合的な学習の時間や道徳の時間との関連を図った学級活動の指導事例【小学校】

本事例は、児童に「自他を尊重する心」をはぐくむことを目指し、学級活動において「心身の健全な発育・発達」に関する指導を行った実践です。指導に当たっては、総合的な学習の時間における異世代との交流体験や道徳の時間における生命尊重の学習との関連を図るとともに、家庭や関係機関の協力を得たり、養護教諭と役割を分担して指導したりするなどの工夫をしています。

第6学年学級活動指導案

(1) 題材名 「私の成長」

(2) 題材設定の理由

小学校6年生段階においては、これまでの学習や経験を通して、生命が大切なものであるということは理解しているものと考えられるが、子どもたちが生命の尊さや生きることについて実感を伴って考える機会は決して多くない。

6年生という節目の年に、自分がこの世に生を受けてから、今日までどれだけたくさんの人たちに支えられて成長してきたかについて、生命がかけがえのないものであることや、互いを尊重し合い、支え合って生きることの大切さなどに気付かせせたいと考え本題材を設定した。

(3) 指導計画～（ ）は時数

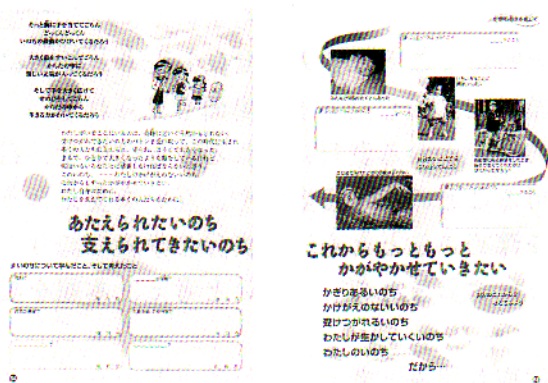
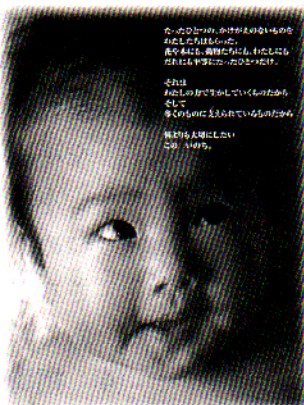
総合的な学習の時間(2)	道徳の時間(1)	学級活動(1)
・ 各自の課題に応じて、校区にある保育所や福祉施設を訪問し、乳幼児やお年寄り、障害のある人との触れ合いや交流活動を通して、課題解決に役立てることができるようになる。	・ 「生命尊重（内容項目3－(2)」について、総合的な学習の時間や学校行事における体験活動等を生かし、一人一人が価値を自分の問題として考えることができるようにする。	・ 総合的な学習の時間における体験活動や道徳の時間の学習を踏まえ、自分のこれまでの成長や自他を尊重することなどについて考える。 ・ 保護者に子どもへのメッセージを書いてもらうよう依頼する。 ・ 指導に当たり、養護教諭の協力を得る。 ・ 「心のノート」 P62～65の活用を図る。

(4) 本時の指導

① 目標

自分の成長の跡を振り返り、生命の大切さや自分を支えてくれた人の存在を確かめ合うとともに、自他を尊重して精一杯生きようとする気持ちを育てる。

② 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入	1 これまでの学習を振り返る。 ・保育所で抱かせてもらった赤ちゃんの表情（体温、心臓の鼓動など）から生きていることを実感した。 ・障害を抱えながらも精一杯がんばっている人たちの姿に感動した。 2 本時の課題を確認する。 これまでの自分の成長を振り返り、今後の生活について考えよう 	・これまでの学習を振り返り、強く印象に残っていることを確認させる。 ・「心のノート」 P62,63や道徳の時間の最後に書かせた感想カードも利用する。 
展 開	3 「生命の誕生」のVTRを視聴する。 4 VTRについての感想を発表する。 ・お母さんのお腹の中で大きくなっていく様子がよく分かった。 ・赤ちゃんが生まれたときのお父さんとお母さんの嬉しそうな表情が印象的だった。 5 「心のノート」のP64,65を開き、自分のこれまでの成長についてまとめる。 6 記入内容をグループで交流し、互いのこれまでの成長の跡や支えてくれた人について確かめ合う。	・養護教諭が指導に当たる。 ・児童の感想を聞いた後、生命誕生の仕組みについて簡潔に説明する。 ・学級担任が指導する。 ・記入状況を確認し、必要に応じて個別に支援する。 ・養護教諭と協力してグループの交流状況を把握する。
整 理	7 保護者からのメッセージを読む。 保護者には我が子の成長に対する喜び、子育ての苦勞、今後の期待等を書いてもらう。 8 今日の授業を振り返り、これからの生活についての自分の考えを書く。	・保護者からのメッセージを一人分読んだ後、一人一人に手渡す。 ・自他を尊重し、精一杯生きていく気持ちをもたせたい。

◆実践のポイント◆

他領域等との関連

総合的な学習の時間における体験活動や道徳の時間の指導との関連を図り、生命を大切にす心や互いを尊重し合う態度をはぐくむよう工夫しています。

家庭や関係機関、養護教諭との連携

生命の尊さについて、より実感を伴って理解できるよう、指導を工夫しています。